

# 事業報告書

---

## 第11期

自 2025年4月1日  
至 2026年3月31日

---

ACAS

一般社団法人新CAS協議会

# 一般社団法人 新CAS協議会 2025年度 事業報告 【2025年4月1日～2026年3月31日】

## 1. はじめに

一般社団法人 新CAS協議会は、2018年12月の4K・8K衛星放送（4K・8K放送）の開始に合わせて、放送コンテンツの保護管理に必要となる新しいCASシステム（ACAS方式）を開発し、テレビ受信機等にICチップ（ACASチップ）を実装するかたちで、その普及に取り組んできた。

ACAS方式を採用する受信機の製造メーカーは、これまでに国内外の主要メーカー39社に広がり、2025年度末には市場におけるACASチップ搭載のテレビ受信機台数が、ようやく2,500万台を超える見通しである。

2018年の4K・8K放送開始以来、ACAS方式の運用において大きなトラブルは報告されておらず、とりわけユーザー段階でのACASチップの故障に起因する不具合は極めて少ない件数にとどまっている。方式としての安定性、部品としてのチップの信頼性は、いずれも非常に高い水準を維持している。

2025年度までには、ACAS方式の更なる普及を図るため、4K放送を受信しない2K放送受信機にACASチップを搭載可能とする規定・規格の改定に、当協議会も主要事業として取り組んだ。

結果として、2026年4月には、ACASの2Kテレビ利用に関するARIB規定の改定が正式に完了し、2K受信機へのACAS搭載に向けた制度的な環境が整備された。受信機の多様化が進むなかで、市場ニーズや普及状況、さらには将来の放送受信環境を注視しつつ、方式管理体制をより強固なものとし、新CAS協議会加盟社の更なる負担軽減にも配慮しながら、普及拡大を引き続き推進していく。

通信によるコンテンツ視聴機会の拡大により、放送コンテンツの一層の充実が求められる中で、2026年度においても当協議会の使命と役割はその重要度は変わらない。更なる普及拡大の機会を確実に捉え、市場におけるACASチップの品質監視継続するとともに、方式開発ベンダーや製造メーカーとの密接な連携を通じて、当協議会の事業を滞りなく展開していく。

より多くの視聴者が、高品質の映像コンテンツを安心して楽しめる環境の維持することは、当協議会が担う重要な責務である。今後も幅広い分野の事業者と連携しながらACAS方式の安定的な運用に力を注いでいく。

## **2. 事業方針**

### **【2-1：技術部】**

技術部では、4K・8K放送の更なる普及に向けて、関係機関等と連携を図りながら、放送コンテンツを適切に保護するための仕組み（ACAS方式）の安定運用及び継続的なセキュリティ維持・管理に関する業務を進めた。

#### ① ACAS方式の運用

ACAS方式の安定運用を図るため、方式の実運用対応を着実に進める。2025年度は、ACASチップを2K受信機においても利用可能とするために、ARIB標準規格及び運用規定の改定を行った。

また、市販受信機におけるCASダウンロード機能の技術検証や運用性向上のための技術検討を進めながら、放送局設備、受信環境及びACASチップ等における適切な方式運用を推進した。

#### ② 関連設備の運用

鍵管理システム等の各設備において、セキュリティ管理及び安定運用に努め、鍵データ発行等への継続的な対応を行った。

#### ③ セキュリティの維持・管理

継続的なセキュリティ維持の取り組みとして、放送事業者及び鍵発行サイト等のセキュリティ点検、新たな脅威の調査並びにACASチップの第三者セキュリティ評価等を実施した。

#### ④ 技術仕様等の整備

受信機メーカー及び放送事業者等に向けたACAS方式に係る技術仕様並びにACAS方式運用及びセキュリティ維持に関わる規程等の策定と維持管理を進めた。

#### ⑤ 関係機関等との情報共有

ACAS方式の普及と維持管理を目的とし、放送事業者、ケーブルテレビ事業者、受信機メーカー、CASベンダー及び関係機関等との情報共有と連携を図った。

#### ⑥ 技術委員会等の運営

技術委員会等の適正な会議運営を図り、ACAS方式に関する技術情報の共有、迅速な課題解決を図った。

### **【2-2：技術企画部】**

技術企画部では、ACASチップ向けKm鍵の発行に関わる各業務について引き続き高い精度での運用を実施するとともに、技術部と連携し関連業務の課題検討を行い、必要な業務改善を継続的に実施した。

#### ① Km鍵発行業務

Km鍵の発行業務について関係先の協力のもとで運用部と連携し主要業務としての信頼性を担保し、ACASチップの普及拡大が円滑に行われるべく、精度の高い鍵発行業務を実施した。

## ② Km鍵及びACASチップの在庫管理集計業務

販売会社より報告される発行済みKm鍵の使用状況とACASチップの販売状況について、在庫管理規程に沿った運用が行なわれることを担保、且つACAS方式のセキュリティ維持要件に適ったデータの蓄積と集計を維持した。

また、構築したACASチップ発行済ID番号の管理データベースを活用し、2K受信機でのチップ搭載開始で見込まれる受信機メーカーとの新規契約及びKm鍵発行数の増加に対応できるよう備えた。

## ③ ACASチップ発行ID番号管理業務

ACASチップ発行ID番号管理についてはKm鍵発行業務と相互で連携をとり、精度の高い業務遂行を行った。

また、Km鍵発行数量及び発行IDの集計データを有効に運用管理し、適切な情報共有を適宜、実施した。

### 【2-3：運用部】

運用部では、ACASチップ搭載受信機の更なる普及を促進するとともに、関係者間の連携を維持し、必要に応じて拡大を検討した。

また、放送事業者や関連団体、企業と連携し、視聴者が4K・8K放送を安心して視聴できるよう、具体的な説明環境を整備する活動を進めた。

## ① ACASチップ搭載受信機の更なる普及拡大

ACASチップ搭載受信機の更なる普及のため、関係各社との連携や流通ルートの維持、緊急時の備えのための調整を継続して行った。

また、新たな企業がACASチップ搭載受信機メーカーとしてスムーズに参入できるよう、手続きの迅速化を励行した。

## ② 視聴者、関係者への丁寧な説明

関連団体や受信機メーカー、放送事業者等と連携し、視聴者への適切且つ丁寧な説明を行うとともに、コールセンターをはじめとする必要な体制の整備・充実を図った。

## ③ 運用委員会等の運営

運用委員会等の会議体を通じて会員各社と協力しながら、ACAS方式の安定運用及び事業費の適切な活用等の課題に対応した。

## 【2-4：総務・経理部】

総務・経理部では、当協議会運営に関わる体制の整備・充実の取り組みを更に進めた。

### ① 法人ガバナンスの強化

公益的な立場から、ACAS方式の管理維持を行う一般社団法人として、高い透明性を確保した事業運営を行うため、引き続き各種内部規則・規程類について、適宜的確に見直しを図るとともに法令・規則等の遵守に努めた。

### ② 会議の運営

社員総会・理事会・運営委員会等の会議の運営にあたっては、会員・委員等と緊密に連携し、インターネット会議システムを活用しながら、効果的且つ効率的な会議運営を行った。

### ③ 適正な予算管理

会計監査人及び顧問税理士法人と連携し、適切な区分経理処理を行うとともに、関係部長と連携しながら、運営経費の削減に努めた。

### ④ セキュリティ管理の強化

情報セキュリティ管理規程に則り、各部と連携して、管理体制を適宜見直しながら、当協議会内の重要物品・重要情報の管理、漏洩防止、防犯等、セキュリティの管理強化に努めた。

### 3. 法人の運営

2025年度に開催された主な会議は以下の通り

区 分	回 数	開催日（決議日）
社員総会	第 28回（臨時・決議の省略）	2025年 4月 1日
	第 29回（臨時・決議の省略）	2025年 4月 1日
	第 30回（定時）	2025年 6月25日
理事会	第 88回（決議の省略）	2025年 4月 1日
	第 89回（決議の省略）	2025年 5月26日
	第 90回	2025年 6月25日
	第 91回（電子メール/報告）	2025年 8月26日
	第 92回（電子メール/報告）	2025年12月16日
	第 93回	2026年 2月25日
運営委員会	第 99回（WEB）	2025年 5月20日
	第100回（電子メール/報告）	2025年 6月23日
	第101回（電子メール/報告）	2025年 8月25日
	第102回（WEB）	2025年12月16日
	第103回	2026年 2月24日

※上記の他、運用委員会、技術委員会を適宜、開催した。